

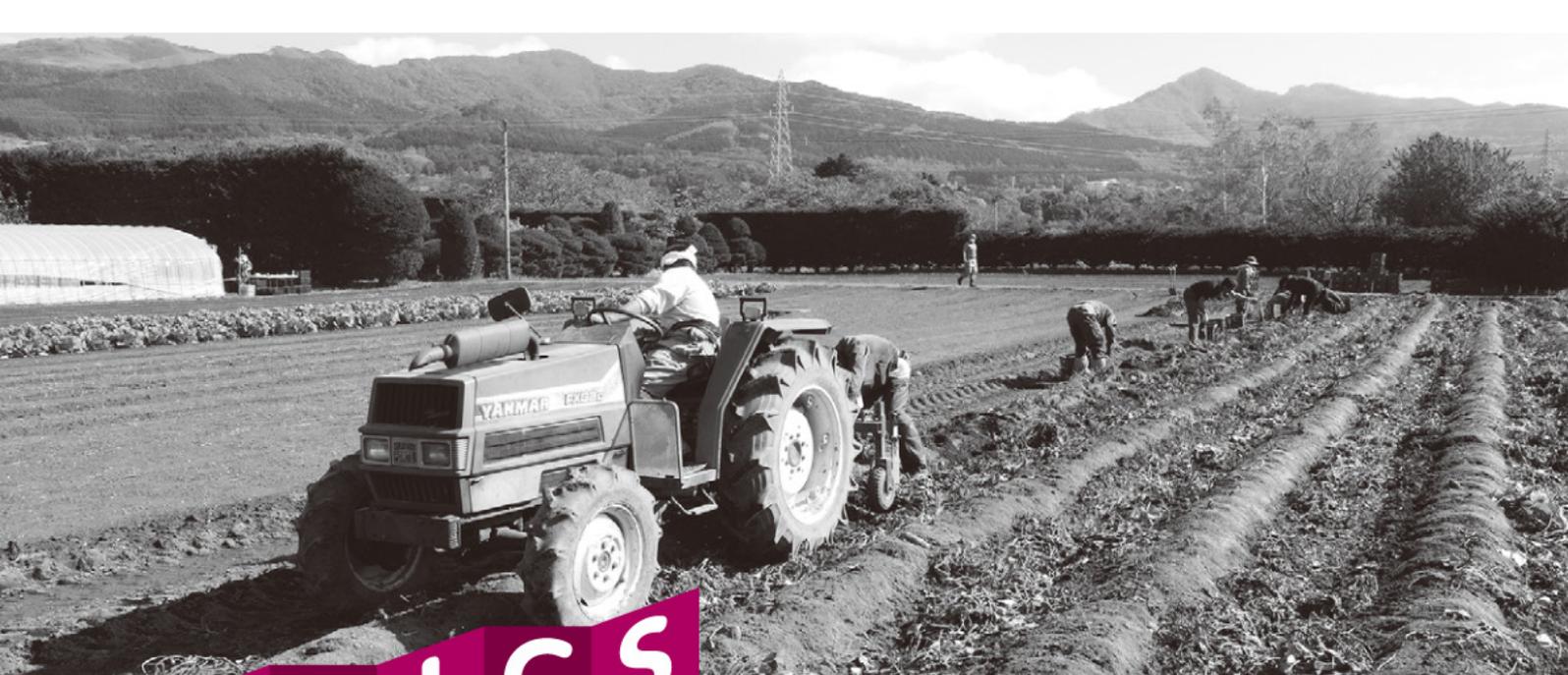
# ・人 広報



主な  
話題

新特産品に向けたサツマイモ収穫  
女性部・青年部合同収穫祭  
年金友の会 ゲートボール・パークゴルフ最終戦  
種子馬鈴薯共同選別 その他

11 月号  
NO.661



# TOPICS

本格的なサツマイモ産地化を目指し2年。栽培方法や収穫方法に苦戦しながらも、可能性のある方法を選択し、栽培面積の拡大を図っています。産地化へのご協力とご理解のほどよろしくお願いいたします。

## ■ 新特産品に向けたサツマイモ収穫

10月上旬、JA伊達市事業推進室は、新たな産地化を目指し昨年からの栽培を続けているサツマイモの収穫を行いました。今年の栽培は伊達市内の生産者7件で22,500本、約70aの圃場で生産されました。収穫量は2トンほどでホクレンに出荷されます。各関係機関との協議を重ね、品種や収穫方法などを模索しながら進めています。

サツマイモの他にも落花生の産地化に向けた栽培を行っており、2品目とも順調に収穫を終えました。今後はホクレンとの協議を継続し、栽培方法の確立を目指しています。



収量調査のようす

## ■ 女性部・青年部合同収穫祭

10月1日(土)、JA伊達市女性部・青年部合同の大収穫祭をくみあいマーケット本店で行いました。

キャベツ、ブロッコリーやカボチャなどの伊達野菜が中心で女性部特製のカボチャ団子や、焼きとうもろこしなど販売しました。詰め放題コーナーでは規格外品となったタマネギとジャガイモを用意し多くの方が楽しみました。

今年で2回目となった収穫祭は、農業・漁業大物産まつりの中止を受け、開催しました。

JA担当者は「規模は大きくないが、地域に還元できるよう企画していきたい」と話しました。



収穫祭のようす

## 年金友の会



### ■ ゲートボール大会最終戦

10月1日(土)、年金友の会ゲートボール大会最終戦が、だて歴史の杜ゲートボール場で行われました。元気よくハツラツとプレーしていました。ゲートボールはチーム戦であり、工夫を凝らした戦略が大事。子供から大人まで楽しめるスポーツです。

大会の結果は以下の通りです。

- 1位 Aチーム 太田 智・角田 満  
伊藤 喜枝・篠原 裕治  
2位 Bチーム 東海林 信雄・堀 智博  
平泉 国子・東海林 綾子



ゲートボールを楽しむようす

### ■ パークゴルフ最終戦

10月15日(土)、年金友の会パークゴルフ閉幕戦が伊達市関内パークゴルフ場で開催されました。また、結果は以下の通りとなっています。

- | 男性の部     | 女性の部      |
|----------|-----------|
| 1位 丹野 征之 | 1位 北藤 洋子  |
| 2位 堀 智博  | 2位 篠原 ミヤ子 |
| 3位 佐藤 繁  | 3位 伊藤 喜枝  |
| 4位 堀籠 次男 | 4位 長谷川 貞子 |
| 5位 篠原 裕治 | 5位 高野 ヒサ子 |

ホールインワン賞

- 篠原 裕治  
篠原 ミヤ子



パークゴルフを楽しむようす

## JA青年部



### ■ さつまいも食育収穫体験

10月25日(火)、JA伊達市青年部は伊達市立東小学校2年生の児童76名とサツマイモの収穫体験を行いました。

青年部員が栽培したシルクスweet約600kgを手掘りで収穫しました。青年部員が児童たちをサポートして丁寧に掘りました。

広瀬将大部長は「5年目の収穫体験は部員の手慣れたサポートや先生方のおかげでスムーズに事業を進めることができました。

た。感謝でいっぱいです」と話しました。

サツマイモ栽培を来年度も継続し、子供たちとの食育事業を行い、地域に根差した活動を行っていきます。



収穫体験後の記念写真

## ■ 種子馬鈴薯共同選別

10月下旬、種子用馬鈴薯の出荷・選別を種子用馬鈴薯選果場で実施しました。伊達市馬鈴薯採種組合は約5ヘクタールでキタアカリ、トヨシロ、ワセシロの3品種を生産しており、生産者が中心となって選別から袋詰め作業を行いました。

今年の出荷数量は昨年より増加し、大雨の影響を受けながらも約170トンと昨年より1,000袋ほど多くなりました。M・L規格が多く、品質も良好で、種子用馬鈴薯はJAグリーンセンターやホクレンへ出荷し、伊達市内や全道各地へ流通します。



種子馬鈴薯選別作業のようす

## ■ 東関内公共牧場 ・ 登別市公共育成牧場下牧

10月19日(水)～21日(金)の3日間にわたり東関内公共牧場で育成牛の下牧作業が行われました。

育成牛140頭がそれぞれ生産者の元へ戻り、乳用牛・肉用牛ともに人工授精を行い、分娩した乳用牛は生乳の生産や繁殖牛へ、肉用牛は、繁殖牛となります。生産された生乳や肉用牛は全道や全国へホクレンを通して販売されています。一括して育成牛を扱う東関内公共牧場は専任の職員が日々の育成牛の動きを観察し、発情や異常を見逃さないよう努力しています。



育成を終えトラックに入るようす

## ■ 農薬散布用ドローン実演会

10月25日(火)、農薬散布用ドローンの実演会を農畜産物集出荷施設裏で行いました。

(有)ソーエイシステムズの協力で(株)石川エナジーリサーチの新型ドローン「アグリフライヤー」や「アグリフライヤー typeR」など小型のドローンを使用して実演し、散布方法や特性などの説明を行いました。小型であることから非常に小回りが良く小さな圃場でも使用できます。

近年、多くの新型ドローンが開発され、生産者の選択肢が増加しています。農薬散布用ドローンに関するお問い合わせは営農指導課又は生産資材課までお願いします。



新型ドローン実演会のようす

## ■ 税務講習会

10月19日(水)、インボイス制度を含めた税務講習会を、JA伊達市本所で行いました。講師には税理士法人松井一晃事務所より廣川聡文氏をお招きし、来年度から始まるインボイス制度の登録や運用方法などの説明と青色申告に向けた帳簿の作成方法や細かな伝票整理方法の確認を行いました。

多くの組合員が参加し、新たな制度への対応や確定申告に向けた準備を進めています。確定申告の準備をできるだけ早く行いましょう。

また、インボイス制度に係るお問い合わせは営農指導課までお願いします。



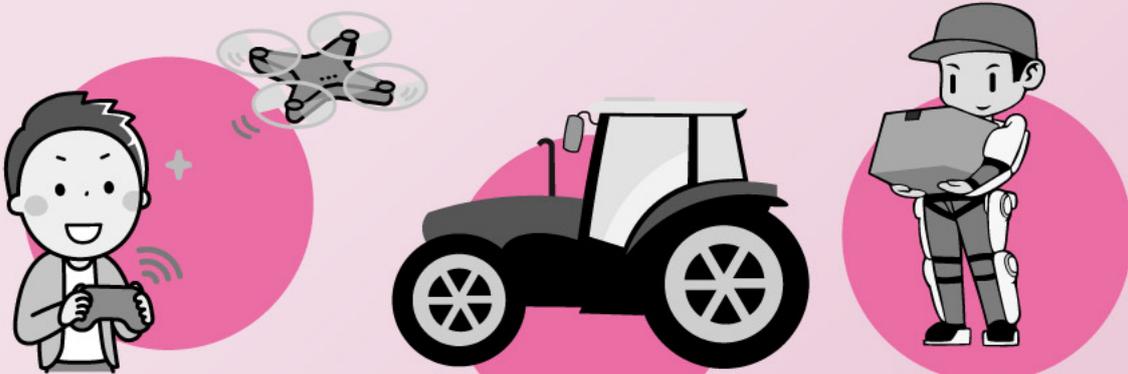
講師の廣川聡文氏

# JA伊達市アグリフェスタ

話題のスマート農業がやってくる！  
新型トラクターや作業機はもちろんのこと、  
農薬散布用ドローンやアシストスーツなど！

令和4年11月19日(土)

10:00～15:00





各団体の詳しい取り組み内容については、WEBサイトをご覧ください。

## JA北海道中央会



### ◆HTB まつりにて JA カレーガチャを開催!

9月30日～10月2日の3日間、さっぽろ創世スクエアにてHTBまつり2022が開催され、JAグループ北海道では、米の消費拡大を目的にブースを出展しました。ブースでは「ガチャ」を活用し、1回1000円で道内JAのレトルトカレーやOnちゃんグッズが当たるイベントを行い、590回を超える参加をいただきました。



期間中は、「国消国産」に関するSNS投稿をした方が数量限定で挑戦できる無料ガチャ企画も行いました。ブースには、お笑い芸人錦鯉のお二人やイチモニ農園で米づくりに挑戦した田口彩夏アナウンサーも訪れ、大いに盛り上がりました。(本イベントの売上の一部は、子ども食堂に寄付いたします)

今後も食と農への理解を促し、サポーターづくりを進めるとともに、国消国産を広く周知するための情報発信を強化して参ります。

## JA北海道信連



### ◆親子で学ぼう!あぐりキッチン教室

JAバンク北海道の食育活動として、JA・農協観光・上川生産連と連携して、親子で農産物の収穫・調理を体験するバスツアー企画を10月から12月に実施します。

稲刈りをして新米でおにぎりを作るなど、農業体験が初めての親子でも楽しめるプランを用意しています。

食への関心を高める企画を通じて、北海道農業のサポーターづくりを進めて参ります。



稲刈りの様子

## JA共済連北海道



### ◆自動車共済お見積りキャンペーンを実施

JA共済では、『自動車共済お見積りキャンペーン』を実施しています。キャンペーンWebサイトへご応募いただいた方の中から、抽選で13,500名様にお掃除ロボットなど素敵な賞品を用意しています。

キャンペーンは令和5年3月31日(金)迄です。この機会にJA共済のホームページへのアクセスお待ちしております!



## ホクレン



### ◆UHB テレビにてミニ番組スタート

ホクレンとUHBが共同制作したミニTV番組「それはまるでトリンドルな1日でした。」が9月6日よりスタートしました。放送は、毎週火曜日・午後9時54分からです。

農業現場に訪れたトリンドル玲奈さんが、農畜産物の調理・食事などを通じて、北海道農業の美しさや食材の魅力をお届けする新番組です。UHBの公式Youtubeチャンネルで配信中の長尺編と併せて、ぜひご視聴ください。



それはまるでトリンドルな1日でした。

## JA北海道厚生連



### ◆看護師採用HPを開設

このたび、看護師採用専門ホームページを開設しました。それぞれの事業所を紹介しながら、地域医療を共に支えてくれる仲間を募集しています。

下記QRコードよりサイト閲覧が可能ですので、より多くの方々にアクセスをお待ちしています。

また、Twitter (@kouseihosp\_ns)でも最新情報を発信していますので、チェックしてみてください。



JA伊達市

スーパー定期貯金新規ご契約及び  
増額書替(20万円以上)のお客様限定

# 冬の貯金キャンペーン

キャンペーン期間

令和4年11月1日(火)から

令和5年1月31日(火)まで

預入期間1年

年 **0.05%**



※貯金利息は税引前です

※総預入金額3億円に達するまで

- お1人様20万円以上1,000万円まで、増額書替は20万円以上で対象とします。
- キャンペーン対象は、正・准組合員にご加入の個人のお客様に限ります。
- 中途解約時利率は、当組合所定の解約利率となります。
- 満期日以後の利息は、店頭金利が適用されます。
- お利息には20.315%(国税16.315%、地方税5%)がかかります。

## 農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ



北海道農業協同組合中央会  
代表理事会長  
小野寺 俊 幸

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で75年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

一昨年より、新型コロナウイルスという今まで経験したことのないウイルスが世界的に感染拡大し、社会・経済にも大きな影響を与えておりますが、経済活動は徐々に日常を取り戻しつつあります。

しかしながら、農業分野においては長引くコロナ禍の影響による農畜産物の消費の低迷、飼料・肥料等生産資材の高騰により農業・JAを取り巻く環境は厳しさを増しております。

思い返すと世界規模での新型コロナウイルス感染拡大に伴い、マスクの需要が急激に増加しましたが、その大部分を海外からの輸入に頼っていた

ことから、国内は深刻なマスク不足に陥ってしまいました。

コロナ禍において、いくつかの国が食料の輸出を制限しました。幸いにも、それらの国から日本は食料を多く輸入していなかったため、今のところ大きな影響には至っておりませんが、何らかの問題が発生したとき、私たちの食料はどうなるのか。私たちにとって大きな教訓となりました。

このことから、国民が必要とし消費する食料はできるだけその国で生産する「国消国産」という考え方は、消費者に知っていただきたい大切なテーマであり、1945年に国連食糧農業機関（FAO）が発足した日、さらに1981年に国連が「世界食料デー」に定めた日である10月16日を、「国消国産の日」として制定し、令和3年に日本記念日協会に登録しました。

今こそ、この国消国産の周知、さらにはJA北海道大会で確認された550万人サポーターづくりを推進するべく、JAグループ北海道が一体となって「アグリアクション北海道」と題した統一した取組みをしっかりと実践することが必要となります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

### JA伊達市の公式



フェイスブック

Facebook



インスタグラム

Instagram



JA.DATESHLHOKKAIDO

農業・地域に係る様々な情報を発信していきますのでよろしくお願いいたします！（担当：営農指導課）

## 伊達市土づくり推進協議会からお知らせ

JA伊達市正組合員の皆様を対象に土壌分析を通年受け入れています。  
定期的な土壌の健康診断を行いましょう。

対象（正組合員）	分析料	助成額
伊達市	2,000円	1,000円以内
登別市・室蘭市	（熱抽出窒素は+500円）	500円以内

- ◎ 特に水稻やハウス等施設においては定期的な分析を推奨しています。
- ◎ 畑作や転作圃場についても2～3年に1度は分析が必要です。

JA伊達市正組合員の皆様に有効に利用していただき、良質な土壌づくりで安心・安全な作物生産をしていきましょう。

詳細や疑問点はお問い合わせください。

### ◆担当者

伊達市土づくり推進協議会 事務局

連絡先 伊達市農業協同組合 営農指導課 高橋まで

TEL 0142-23-2181



### JAの家庭雑誌

あなたの元気がわたしの元気

# 家の光

お申し込み受付中

- ◇普通月号  
税込 **629円**
- ◇付録月号  
（家計簿付12月号）  
税込 **1,027円**
- ◇付録月号  
（1・4・5・7・9月号）  
税込 **922円**

### 農と食の総合雑誌

# 地上

GOOD EARTH

お申し込みはJAへ

- 定価(税込み) / 普通月号  
…… **618円**
- 付録付号(4・11月号)  
…… **680円**



理事  
の  
動  
向

▶第36回理事会…令和4年10月26日(水)

- 第 1 号 役員に対する資金供給について
- 第 2 号 役員に対するクミカン供給限度額及び貸越極度額の変更について
- 第 3 号 クミカン供給限度額及び貸越極度額の変更について
- 第 4 号 JA共済コンプライアンス点検結果について
- 第 5 号 営農計画書の審査方針並びに基準について
- 第 6 号 令和5年度営農計画書の様式について
- 第 7 号 第2・四半期監事監査結果について
- 第 8 号 役員改選に関する会議日程について

JAコネクト

# スマホアプリ 『JAコネクト』

JAからの情報配信手段として、スマホやタブレットのアプリに配信する「JAコネクト」を導入いたしましたのでご案内いたします。  
※ご利用希望の方は、別紙「JAコネクト利用申込書」に記入し提出願います。

※お問い合わせ先

審査課 担当 高橋 TEL : 23-2181



iPhone用



google用



**退** 職されました ▶▶

令和4年10月31日付

氏 名	部 署
上 坂 悟	信用部営農融資課長

# 未来を変える。 みんなで変える。

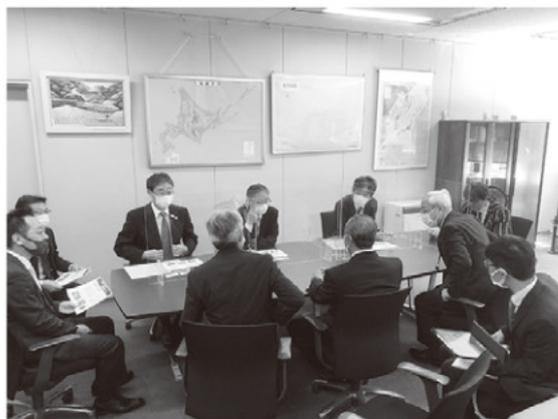
## 国営緊急農地再編整備事業

### 「伊達地区」 Vol.61

#### 中央要請活動を実施

10月26日に期成会長をはじめ役員1名、市長、事務局で上京し、今年度から始まった工事の進捗状況の報告と、来年度以降の継続的な予算計上を求める要請活動を行いました。

今回の要請活動においても、地元である北海道9区選出の堀井学衆議院議員に同行いただき、関係省庁を訪問。昨年度から期成会で作成している伊達地区のPR動画を視聴いただきながら、伊達市の農業のさらなる発展のため、継続的な事業実施の必要性について訴えました。



#### ◆お問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業  
促進期成会事務局  
(伊達市経済環境部農地整備課内)  
TEL0142-82-6161(直通)

発行 伊達市農業協同組合(営農指導課編集)

〒052-8666 伊達市末永町74 TEL 0142-23-2181  
E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp http://www.ja-dateshi.or.jp



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

